

## 協働パイロット事業（H27）企画提案書

団体名：特定非営利活動法人医療・福祉実務者団体

## 1 事業の名称

高齢者が高齢者を支える歌ぶりボランティアを応援しよう！

## 2 事業の概要（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください）

## (1) 社会的課題の発見

静岡市の人口は減少傾向にあるが、一方で高齢者の人口は伸び続けており、高齢化率は平成15年に19.3%、21年には23.8%とポイントがあがり、5人に1人が高齢者となると試算されている

## (2) 社会的課題の解決方法

若年者が増えないのであれば、高齢者が高齢者を支える仕組みをつくる

## (3) 協働の効果

## ●行政のメリット

高齢者間で支え合う期間が延長されると、介護保険の利用期間またはボリュームが減る

## ●団体のメリット

NPO法人としてスタートしたばかりのため、技術を活かせる場があることで存在を広く知らせることができる

## (4) 市民生活の向上

平成27年の改正で要支援1、2の利用範囲が狭くなることが見込まれるなか、S型デイサービスとともに支える仕組みができる

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

(1) 役割分担

●行政の役割

取り組む事業の広報（宣伝）

取り組む事業の会場設定

●団体の役割

取り組む事業の人材配置

取り組む事業の品質管理

(2) 団体が主におこなうこと

- ・ 講座案内（チラシ）、テキストの作成
- ・ 講師2名の派遣

(3) 行政が主におこなうこと

- ・ 市全体への広報（記者クラブ、市の広報誌への掲載等）
- ・ 開催会場と日程を決める
- ・ 参加者の募集
- ・ 静岡市歌ぶりボランティア認定

4 事業計画・実施スケジュール

月	内容
7月	(1) 契約締結 (2) 担当者に詳細な運営書を提出し、打ち合わせをおこなう (3) 取組み内容及び広報情報を整理する
8月	(4) 開催会場と日程を決める (5) 募集 <u>30名</u> 条件：60歳以上、男女問わない 認定後、静岡市登録歌ぶりボランティアとして活動できる人
11月	(6) 歌ぶりボランティア養成講座 基礎 (7) 歌ぶりボランティア養成講座 応用
12月	(8) 歌ぶりボランティア養成講座 発表審査会 → 静岡市歌ぶりボランティア認証
1月	(9) 完了に伴い、報告書を作成する

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

	担当業務	氏名	団体会員	備考
1	統括&講師	原崎小百合	事務局	地域レクリエーションに30年近く携わるなか、公認インストラクターの育成も併せておこなってきた。また、傾聴ボランティアの養成実績は島田市、掛川市、三島市等、子育てボランティアの養成は熱海市、湯河原町がある。
2	講師	澤部栄	会 員 (市外在住者)	特別養護老人ホームの生活相談員を15年務め、平成25年退任後、福祉事業所の教育や評価に従事している。幼稚園教諭、保育士、社会福祉主事、介護福祉士、介護支援専門員等の資格を有する。
3	講師	岩崎美香	会 員	子育て終了後福祉施設で働くようになり、体育大卒の経歴を活かし身体をつかうレクリエーション開発に取り組んでいる。介護福祉士、介護支援専門員、福祉レクワーカー等。

他、2名が参加予定

6 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など)

「専門性の高さ」… 一定の品質で提供できる

メンバー全員がレクリエーション・インストラクターで、半数以上が現場（デイサービス等）経験をもつ

「独自性」… 元気な高齢者が高齢者を支える仕組み、というのはめずらしい

「先駆性」… 傾聴ボランティア養成講座、子育てボランティア養成講座は市町公認がこれまでであったが、歌ぶりのボランティア養成で公認のものはない

「実績」… 本講座を団体としておこなったことはないが、法人化前には毎年、公益財団法人日本レクリエーション協会の、認定インストラクター養成講座のプログラムメニューに盛り込んで取り組んできた（会員全員が経験者）

## 協働パイロット事業 (H27) 見積書

団体名：特定非営利活動法人医療・福祉実務者団体

企画のタイトル：高齢者が高齢者を支える歌ぶりボランティアを応援しよう！

項目	金額	説明
講師 主担当1名 } × 3回 副担当1名 }	183,000 円	○打ち合わせ、準備2人×6日=12 ¥5,000×12=¥60,000 ○当日講師 2人×3日=6 ※1回2~3時間を想定 ¥15,000×6=¥90,000 ○交通費 準備12+当日6=18 ¥1,000×18=¥18,000 ○事務費 ¥15,000
テキスト印刷代	4,500 円	通常テキストは1冊千円~として2回で2千円~だが、今回は印刷代のみで設定。1会場30名を予定し、1名あたり150円で、4500円。31名以上の場合は団体が負担する
小計 A	187,500 円	
消費税 B=A×0.08	15,000 円	
合計 A+B	202,500 円	

◎実費弁償契約の希望の有無 有  無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な使途